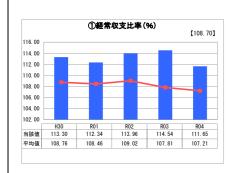
経営比較分析表(令和4年度決算)

埼玉県 神川町

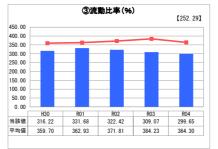
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
_	86 44	99 00	3 190	

人口 (人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
13, 122	47. 40	276. 84
現在給水人口(人)	AA -1 1-A (1 2)	AA
現在和小人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)

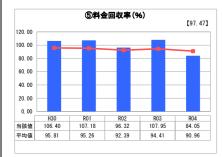
1. 経営の健全性・効率性





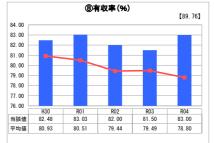




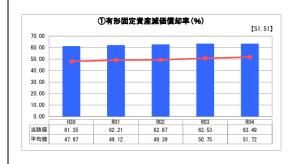


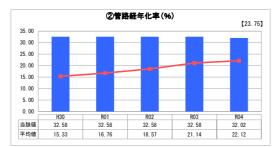


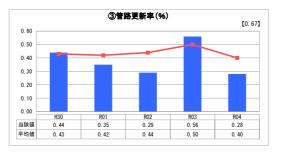




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、電気代の高騰により低下した。今 後も健全経営を継続していく。

②累計欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないよう継続していく。

③流動比率は100%を超えているが、電気代の高騰に より現金預金残高が減少したことに伴い、前年度より 減少している。短期的な債務に対する支払能力は有し ており、今後も健全経営を継続していく。

ており、今後も健全経宮を継続していく。 億企業債素対給水収益比率は、類似団体平均値を大 きく下回っているが、基本料金減免を実施したため昨 年度より上昇した。今後も健全経営を継続していく。 ⑤料金回収率は、基本料金減免を実施したかったた

め、低下した。今後も回収率上昇に努めていく。 (⑥給水原価は、効率的な事業運営に努めてきたことな どから類似団体平均値を下回っているが、電気代の高 騰により昨年度より上昇した。今後も支出について更

なる精査を行う必要がある。 ⑦施設利用率は、給水人口の減少により配水量が減少 したため、昨年度数値より低下した。今後も適切な規 模確保を検討していく必要がある。

(⑧有収率は類似団体平均値を上回り、昨年度から上昇 したが、地表に出てこない漏水があることから、分 も引き続き老朽管の布設替えの推進や計画的な漏水調 査を実施すること等により、有収率の更なる向上に努 めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、過去20年 ほど大規模工事を行っていないため横ばいとなって いる。今後の計画で来年度より予算を調整しながら 計画的に更新工事を行っていく。

②管路経年化率は、法定耐用年数が経過した老朽管を毎年度同数量にて順次、布設替工事を実施しているため、工事延長がほぼ一定となっている。類似団体平均値を大幅に上回っているため、計画的で積極的な施設管路の更新が必要である。

③管路以外の施設の更新工事を優先したため、昨年 度より低下した。今後も計画的に更新を進めていく 必要がある。

全体総括

現状、負債についての懸念は無く、料金設定も適切だが、給水人口の減少に伴い、給水収益の減少が見込まれる中で、効率的に財源を確保し、施設規模の 見直しや老朽化した施設や管路の更新を実施していく必要がある。